



を披露しており、その1か月前から毎週練習を行っています。大学生の先輩たちに指導してもらっていますが、リズムカルに踊る普通のダンスとは違い、ゆっくりと動きながら他の人たちと目線や動きのタイミングを合わせることが難しく、きつい体勢を維持しながら

踊るところもあり、激しく動かないながらもとても疲れます。しかし、見に来てくれた友達から褒めてもらえる、とてもうれしいです。これからは、後輩にも教える立場になるので自信をもって踊ることができるよう一生懸命練習を続けていきます。



吾平中学校
木下 もも さん(2年生)

クラスでは国語の教科連絡係を担当している。好きな教科は音楽。部活動見学の際にフルートの音色が素敵だったので、吹奏楽部に所属している。



友達の姉ちゃんの巫女舞を目にして「かっこいい、きれい」と思ったことがきっかけで、昨年2月から巫女舞を始めました。主に、吾平町で行われる「美里吾平ひなまつり」と「吾平山の上の四季を楽しむお茶会」で踊り



昔、鹿屋で起きた出来事にクローズアップ!



タイム トラベル ~温故写新~

34話

鹿屋郵便局閉局150年



明治4年、東京大阪間で官営の郵便事業が開始されました。これは前島密の発議によるもので、日本に郵便の仕組みを築いた同氏は「日本近代郵便の父」と呼ばれ、現在でも1円切手の肖像となっています。政府は、廃藩置県に伴い職を失っていた地方の名手や庄屋などを郵便取り扱役(後の郵便局長)として任命し、近代的郵便制度を全国に普及させていきました。



▲開局150年記念イベントでは、同局の内田信生局長が「社員一丸となって精いっぱい良質なサービスに努めて参りたい」と語りました。



▲大手町当時の鹿屋郵便局



▲向江町当時の鹿屋郵便局

昨年で開局150周年を迎えた鹿屋郵便局。長年に渡り市民を支えてきた同局は、これからも市民生活を支えていきます。

縁側に机を持ち出して事務を執るといって、ごく簡素な状態でした。また配達期間もかなり長かったとされていますが、郵便貯金や為替事務など次第に取り扱い事務を増やしていき、サービスの充実が図られていきました。

現在は白崎町に位置している鹿屋郵便局は、明治7年に旧鹿屋村大字中名に鹿屋郵便取扱所として設置され、大正11年に大手町、昭和16年に向江町、そして平成7年に現在の場所に移転が行われました。